

ぶしてゐる、なほ盛に想像の翅は擴つてゆく。

「先生こんなにはひろひました」。

採集家のポケットは両方とも一ぱいである。

「さあそれちや歸りますよ」。

もこ来た途をもこの様にしづかにく歸るのである。



野間　こ　よ

私が明治四十一年の春以來十三年の間お茶の水幼稚園に御厄介になりましたのは十數年昔のころでございます、長くも感ぜられ短くも感ぜられる此十三年、やはりいろいろの事がございました、妹も弟も持たぬ私は子供が大好きではありましたが、これに對して何等の經驗も持たず、はじめて四十人の子供を受持ちました時には全くさうしてよいか分りませず子供に口利くのも恥かしい氣がしました、でも他の先生がたの御親切なお導きのもこに其日其日の子供に怪我もさせず一しよに楽しく遊んで行くこが出來ました。樂しかつた思ひ出も苦しかつた思ひ出も數々ありますがこには其當時の保育の片はしを一つ二つ覺束ない記憶を辿ながら記して見たいと思ひます。

まづ朝子供が集まりました頃、保育室に入れ各兒の定まつた椅子に腰かけさせて後、手を洗はせたり、鼻をかませたり、爪を調べてやつたり、整容に關する種々の事をします。

整容が終りますも先生も子供も全部遊戯室に集まり半圓に並び當番の先生が中心に立ち「お早うございます」朝の挨拶をしてあみ二つ三つ唱歌や遊戯をして終ります。時には其時々簡単なお話もいたしました。

此會集がすみます。幼児は各保育室に別れ遊戯、談話、唱歌、觀察のやうなもの、中何れかをなし其のあこ外遊びをして更に又保育室にて畫方、ぬり繪、手技、手工、(手技、手工、は其當時私達も用ゐました言葉で積み方、ならべ方、粘土細工、豆細工、摺紙、織紙、剪紙、貼り方、つなぎ方、なごを含んでゐた記憶いたします)の類をなすのが普通でありました、それを終つて食事、外遊び、歸宅、云ふ大體定まつた順序で日々の保育を行つてをりました。

本校の生徒、保育實習科生の保育實地練習云ふ事がありましたので一週間の時間割を定め殆んど豫定通りに行つたのでありますが子供にしましては不自然な點も多かつたこと、思ひます。出来るだけ此不自然を避けるやうに注意したものであります。

或時はこんな事もして見ました、例へば粘土細工に定めても其時粘土細工よりも繪を描きたい云ふ子供のあるのも當然のことであります、そこで遊びの種類の自由選擇云いふことを見て見ました。即ち保育室の机(普通は五つありました)の上に畫き方、粘土、積木等種々の遊びを机々によりて別々に準備し置き何れにても其好む所をさせました。年中粘土細工ばかりしてゐる云ふ風に偏したもなく興味を以て各自の好むものをしました。これも一つの方法かと思ひました。

又或時は倉橋先生のお話を伺つてこんなこととして見ました。元來一組の子供四十人(其後三十人になりました)が云ふ数は餘りに多すぎます、私はいつも二十人が適當と思ひましたがそう云ふわけにも参りませんのでお茶の水幼稚園には教生、保育實習科生、云ふ風に大人の手が多かつたのを幸に子供の一團を六人から八人位に分ちまして其各團體に一人づゝの練習生を配當し實際保育の練習をさせました。時間と場所との配置を考へて一團體づゝ別々に落付いた保育をするやうに注意しました。ですから保育室、池の邊、小山のかけ、藤棚の下、クローバーの原、云いふ風にてんでんに机や椅子を持ち出して其準備には毎日かなり大騒ぎをしたものでございました。此方法は多人數より來る保育上の缺點を除くこ

こが出来まして比較的自然的な保育をする事が出来ましたかと思ひます。分園保育でも申しませうか。

又或時はこんな遊びもして見ました。それは動物園遊びであります。遊戯室を動物園として鳥や獸の標本の仕舞ひ込んであるのを持ち出したり、熱心な教生はわざ／＼上野の動物園へ寫生に行つたりして本校の寄宿舎の部屋一ぱいの紙に大きな象や獅子や虎やをかいて子供は自分の五倍も六倍もありそうな此象や獅子のまはりの線をチョキン／＼と切つてこれを壁に紙でこめ其前には檻の金棒を厚紙にて作つたもの押しあて恰も動物が檻の中にあるやうに作り出し、室の中央には積木と水色の紙にて池を作り中に水鳥の標本を配置し、又厚紙にて肴を作り魚釣場を作りなごして遊戯室は賑やかな動物園になりました。本校や附屬の先生や生徒さんをこの動物園に御案内して一週間ほごはたのしいお祭騒ぎをしました。かなり大仕掛けな遊びであつたゞけに子供達の喜びは大きうございました。詳しい事は長くなりますから略します。

三月のお節旬には遊戯室にお雛様をかざり校長様や本校、附屬、の先生方をお招き申上げお雛様の前でお話をしたり、お遊戯をしたり、お唱歌を歌つたりして楽しく遊びました。そして其日は朝早くから私達が作りましたおいりを手製の小箱に入れお雛様の前でみんなでいたゞきました、子供の喜びは一方ではございませんでした。

五月のお節旬にも遊戯室に鐘鬼様の軸物をかけ鎧や武者人形をかざり其前で遊びました。

又其季節々々の園藝も子供は非常に喜びました。

一鉢づゝ與へて各自に朝顔の種子を蒔かせ毎日の給水から除草まですつかり世話させて夏休みには青々繁つた朝顔の鉢を家に持ち歸り休暇中に咲いた花を寫眞にこつたり寫生したり措葉にしたりして九月に幼稚園へ持つて來るのも樂みの一つでありました。其他蚕豆、落花生、二十日大根、なごも蒔かせて見ました。せんなりひょうたんも大變可愛らしくおもしろうございました。子供の家から粟を澤山貰ひまして觀察材料に使ひましたあゝ各自に蒔かせました。大きくなつて

子供の脊丈けの二倍にも三倍にもなつてゐましたのに震災で跡形もなくなり惜しい事をいたしました。マクレッツの挿木、バラの挿木なごも面白うございました。

いろ／＼の思ひ出はつきませんがこれで筆を擱きます。今から考へましても私は随分不自然な保育もいたしました。形式に捉はれた保育もいたしました。あゝもしたらよかつたのに、こうもしたらよかつたのにご自分の研究の極めて淺さかつたこと、自分の努力のいかにも足りなかつたことを今更のやうに後悔いたしてをります。けれども萬事あごの祭り、其時の子供はもう既に立派な方々になつてゐられます。此頃でも時々お目にかゝります毎に昔の幼き姿を思ひ浮べつゝ人間の尊さをつく／＼感じます。そして其方々が其一步一步を最も正しくかつ強く踏みしめて心身共に健かに行手遙かに邁進せられんことを祈つてやみません。



大 瀧 晴

この度いよ／＼大塚の新校舎が落成して、幼稚園も近々御移轉になりますさうで誠にお目出たう存じます。理想的に御設計なさつて、至れり盡せりの設備を整へられたさすがらしい建物ご美しいお庭の中で、御抱負のまゝに理想的な保育を御實現になるのですから、先生方には定めし希望に燃えてお出でになります御こころ遙かに御察し申上げて居ります。

しかし私はあのお茶の水さいふ傳統的なゆかしい名前ご、あの高爽なああの由緒深い湯島の土地から離れておしまひになるのが、何ごも言へず惜しいやうな心地が致します。

殊に私が御世話になつて居りましたのは、震災以前のこごで、あの美しい庭、心地よい建物ばかりが印象されて居りまして、震災後の御様子がよくわかりませんので、殊の外かやうな感じが深いのかも知れません。